

警告

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。またその際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。ボルトまたはナット等が緩んだり、製品が破損すると、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
● 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
● BR-5700にはST-5700/5703, BL-TT79をご使用ください。BR-5700を従来のロード用STLレバー及びフラットハンドル用ブレーキレバーBL-R770/R550と組合わせて使用しないでください。極端なブレーキの効き過ぎ等の恐れがあります。
● 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- トリプル仕様の場合はST-5703とFD-5703の取扱説明書をあわせてお読みください。
● 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
● 円滑な操作のため、指定ケーブル及びケーブルガイドをご使用ください。
● インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分が、グリス潤滑された状態で使用してください。
● インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいため、ご使用できません。
● 変速ケーブルには専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
● 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の劣化は保証いたしません。
● 取扱方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6TH0A-002

ST-5700

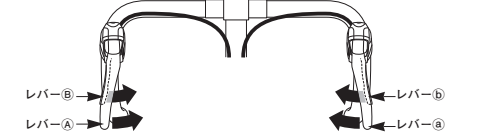
シマノ・トータル・インテグレーション

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

Table with 2 columns: Component Name and Part Number. Includes items like シリーズ, シフティングレバー, アウターケーブル, スピード, フロントディレイラー, フロントチェーンホイール, リアディレイラー, フリーハブ, カセットスプロケット, チェーン, ケーブルガイド, ケーブルアジャスター.

操作変速方法

リア側 フロント側



- レバーA: リア小ギアから大ギアへの変速
レバーB: リア大ギアから小ギアへの変速
レバーC: フロント小ギアから大ギアへの変速
レバーD: フロント大ギアから小ギアへの変速

各レバーとも、操作後に指を離すと必ずレバー初期位置に戻ってきます。

* 取扱説明書は下記にてご覧いただけます。

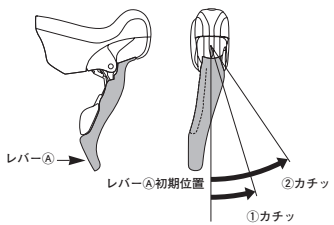
http://techdocs.shimano.com

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

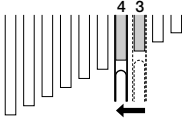
お客様相談窓口
0570-031961 Fax. 072-243-7847
株式会社シマノ
堺市東区豊松町317番地 〒590-8577

リア側レバーの操作

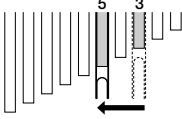
- レバーA.....リア小ギアから大ギアへの変速
レバーAには①、②の2ヶ所にカッチというあたりがあります。



①: 1段分だけ変速
例: 3段目から4段目へ



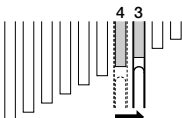
②: 2段分一気変速
例: 3段目から5段目へ



- レバーB.....リア大ギアから小ギアへの変速
レバーBを1回押してはなすと、大ギアから小ギアへ1段変速します。

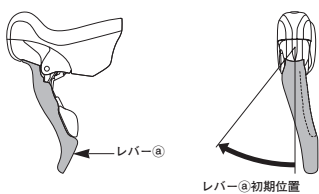


例: 4段目から3段目へ

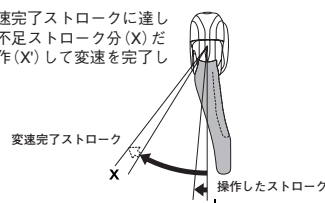


フロント側レバーの操作 (FD-5700)

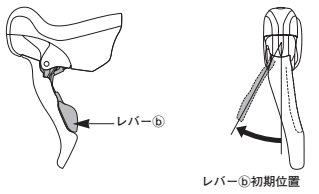
- レバーC.....フロント小ギアから大ギアへの変速



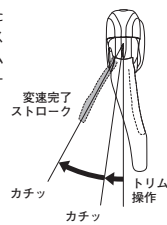
レバーCの操作が変速完了ストロークに達していなかった場合、不足ストローク分(X)だけ再度レバーCを操作(X)して変速を完了します。



- レバーD.....フロント大ギアから小ギアへの変速

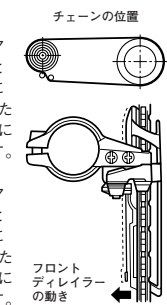


レバーDを操作すると、まずトリム操作あたりがカッチとあり、次のあたりが変速完了ストロークとなります。トリム操作後はトリム操作のあたりはなくなり、変速完了ストロークのあたりのみとなります。



トリム操作 (音鳴り防止機構)

チェーンポジションがフロント大ギア、リア大ギアでフロントディレイラー内プレートとチェーンが接触し、音鳴りが発生した場合に行います。レバーDを軽く押す(カッチとあたりがある)とフロントディレイラーがわずかに小ギア方向へ移動し、音鳴りが解消されます。



操作時の注意

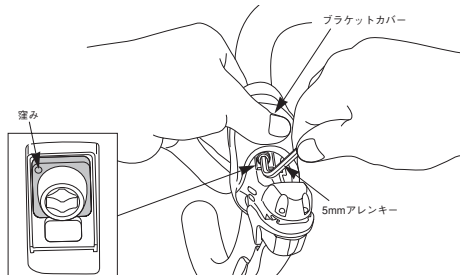
レバーA①操作時には、レバーB⑤も共に動きますが、レバーB⑤には押し力を加えないように注意してください。また、レバーC②操作時には、レバーA①を押さないように注意してください。両レバーに一度に力が加かると変速しません。

RD-5700, FD-5700の取扱説明書もあわせてお読みください。

取付け

ハンドルバーへの取付け

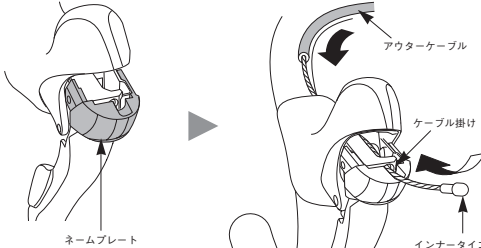
ブラケットカバーを前側から巻き5mmアレンキーで取付けナットを締め付けて固定します。



取付け間座Bは表の小さくながみか左上的になるのが正しい向きです。
締め付けトルク: 6-8 N・m (60-80 kgf・cm)

推奨締め付けトルクにおいても、カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

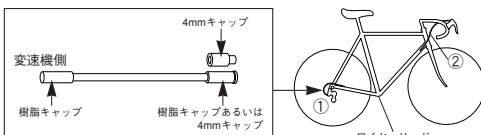
図のようにインナーケーブルを通し、インナータイコをケーブル掛けにセットします。



シフティングケーブルの取付け

使用ケーブル

- ・インナーケーブル.....φ1.2 mm (PTFEインナーケーブル)
・SP41シールドアウターケーブル (①).....φ4 mm
・SP41アウターケーブル (②).....φ4 mm

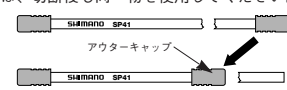


アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。



アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用してください。

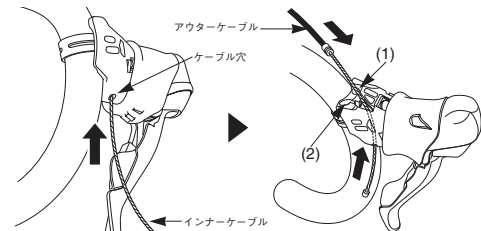


リア側レバー

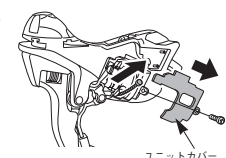
レバーCを9回以上押ししてレバー位置をトップにしてください。



インナーケーブルをケーブル穴に通します。アウターケーブルは①(内側)②(外側)のケーブルガイドで2方向での取り回しが可能です。
ご注意: インナータイコが巻き取り体の奥まで入るようにしてください。

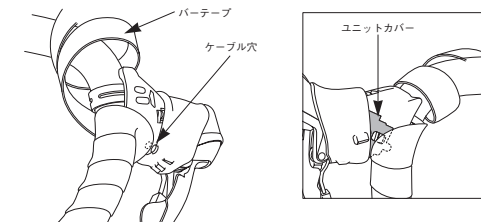


インナーケーブル交換時の取り外しの際、図のようにユニットカバーを外すと取り出しやすくなります。



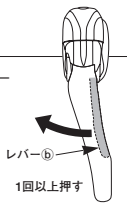
締め付けトルク: 0.2 N・m (2 kgf・cm)

バーテープを巻く場合、ケーブル穴やユニットカバーに掛からないように注意してください。バーテープに掛かるとインナーケーブルの交換ができなくなります。



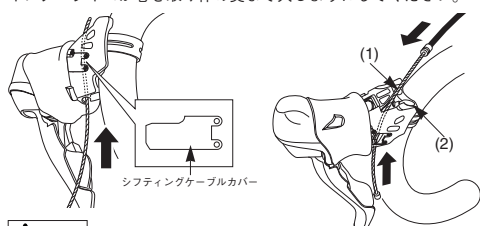
フロント側レバー

レバーDを1回以上押ししてからレバー位置をローにしてください。



インナーケーブルをケーブル穴に通します。アウターケーブルは①(内側)②(外側)のケーブルガイドで2方向での取り回しが可能です。

ご注意: インナータイコが巻き取り体の奥まで入るようにしてください。



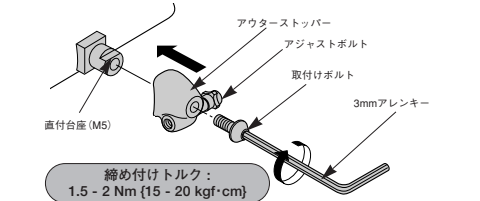
注意

必ずシフティングケーブルカバーを取付けて使用してください。怪我の原因となる恐れがあります。



アウターストッパー

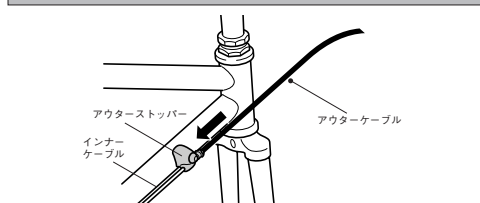
1. ダウンチューブにアウターストッパーを取付けます。



アジャストボルトを締め込んだ状態で取付けください。アジャストボルトの調整シロは6回転です。

2. インナーケーブルを通し、アウターケーブルをセットします。

アウターケーブルはハンドルを左右一杯に切っても余裕のある長さのものを使用してください。



確認:

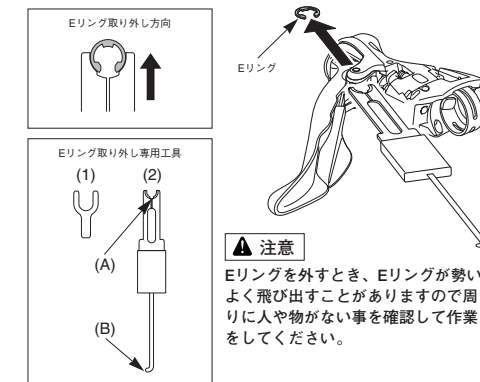
アウターケーブルがアウターストッパーにきちんとセットされていること。

メンテナンス

※イラストは右レバーです。

ブラケット体とレバー体の分解

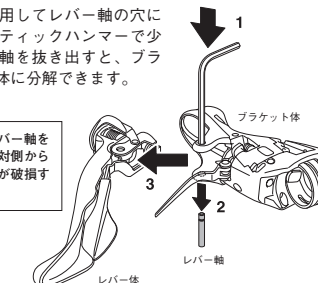
1. 最初に、専用工具を使用してEリングを取り外します。専用工具(2)のB部分を使用してEリングを取り外しの向きに合わせます。次にA部をEリングにセットし、取り外します。



注意

Eリングを外すとき、Eリングが勢いよく飛び出すことがありますので周りに人や物がいない事を確認して作業をしてください。

2. アレンキー等を使用してレバー軸の穴に差し込み、プラスチックハンマーで少しづつ叩きレバー軸を抜き出すと、ブラケット体とレバー体に分解できます。



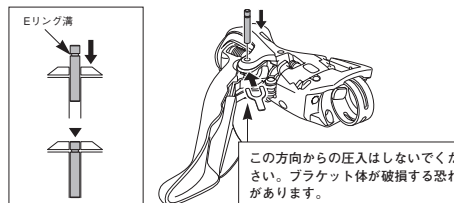
この方向から必ずレバー軸を抜いてください。反対側から抜くとブラケット体が破損する恐れがあります。

ブラケット体とレバー体の組み立て

1. メインレバーサポートにコネクترلーパー部を差し込んでからレバー本体とブラケット部を合わせます。次に、リターンスプリングの先端を切り欠き部に差し込みます。



2. 軸穴を一致させて専用工具(1)を図の位置にセットし、レバー軸を圧入します。



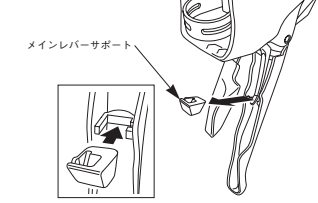
- レバー軸のEリング溝が上側になるのが正しい向きです。
● Eリングが溝に入るようにするため、ブラケット体の表面とレバー軸のトップ面がフラットになっていることを確認してください。

3. 専用工具(1)を取り外し、専用工具(2)でEリングをはめ込みます。



メインレバーサポートの交換

取付け: レバー体の落ち止めの切り欠き部分に押し込むようにしてセットしてください。



ケーブルガイドの交換

この穴を利用してケーブルガイドを交換してください。



ブラケットカバーの交換

ブラケットカバーの各凸部がそれぞれブラケット体の窪みに合うようになっています。



封印に注意
R: 右用 L: 左用

アルコールをブラケットカバー内側に塗ると取付けやすくなります。